

◆ はじめに

この留学プログラムは秋学期(8月下旬開始)~春学期(5月上旬終了)の間、イリノイ大学の授業に参加するというものですが、希望者は夏学期(6月上旬開始)に Intensive English Institute (IEI)、いわゆる英語学校に通い、英語のみを重点的に学習することができます。私も過去の先輩方同様、IEI に通いました。つまり早いものでこの初回報告書を書いている時点で、渡米してから約4ヶ月が過ぎています。

本報告書では、IEI での授業や活動、秋学期、つまり現在履修している授業などについて書かせていただきます。

◆ IEI での授業・活動

最初の約1週間ほどは、Intern (IEI の色々な活動のアシスタントをしてくれるイリノイ大学の学生)や先生たちから、キャンパス内におけるバスの乗り方や、買い物の仕方、スーパーやマーケットプレイスの行き方、レストランでの食事の仕方などを教わることができます。また、BBQ など数多くのイベントがあるので、それらを通して多くの留学生と親しくなれます。そしてその後にはプレイスメントテストが行われます。

IEI では学生の英語レベルによって大きく6つのレベルに分けられます。必修クラスは同じレベルの学生によって構成され、選択クラスにおいても基本的に近いレベルの学生で構成されます。このレベル分けの指標となるのがプレイスメントテストの点数で、テストはリスニング、文法、リーディング、ライティング、そして先生との面接(スピーキング、発音)で構成されます。私は500レベル(上から2番目のレベル)でした。以下クラスごとに内容を報告します。

• Academic Reading and Writing (必修)

ひたすら科学的な記事やエッセイを読み、エッセイの書き方を習い、そしてエッセイを何度も書きます。エッセイ作成の途中でクラスメイトとエッセイを交換しクラスメイトが作成したエッセイに対して意見を言ったり、明らかな間違いに対して指摘したりします。宿題はけっこうあったように思います。私にとってこのクラスはけっこう得意だったのか、先生に、私の書いたエッセイのイントロダクション部分を参考例として次の学期の学生に見せても良いか、と聞かれました。

• Academic Listening and Speaking (必修)

プレゼンテーションを聞いて内容について議論したり、効果的なプレゼンテーションのやり方を習ったり、ディベートの練習をしたりしました。こちらもプレゼンテーションを聞いてサマリーを作るといったことからはじめとしてかなりの量の宿題がありました。思い出に残っているのはディベートの準備期間です。ディベートはあるトピックに対して2人の賛成派と2人の反対派に分かれ、議論を行います。準備期間中は同じチーム内で意見をまとめ、どのように相手チームを論破するかを考えます。私のチームメイトは韓国人の女の子で、かなり優秀な学生であると同時に負けず嫌いな学生だったと思います。何度も授業外の時間にミーティングを行い、意見を出しあいました。ディベート本番や、また他の議論の中ですべてがスムーズに行ったわけではもちろんなく、うまく英語で意見を伝えられないなどかなり歯痒い思いもしました。

• Advanced Pronunciation (選択)

発音のクラスです。本格的に発音について習ったことがないのでかなり新鮮で面白いクラスでした。授業は普通のレクチャーであったり時にはゲームをしたりといった内容で構成されます。宿題は、文を音読し、これを録音してウェブサイト提出します。それを聞いた先生がひとりひとりの学生に対して弱点を指摘してくれます。

• Advanced Oral Communication (選択)

個人的に一番苦手で、参加するのが恐ろしかった授業です。何度スキップしようと思ったかわかりません(終わってみれば全てのクラスで欠席・遅刻なしです)。あるシチュエーションが用意され、そのもとで2人から3人のチームでクラスの前に立ってロールプレイを行います。ときにはこれが録画されます。このクラスの大半が600レベル(IEIにおける一番上のレベル)の学生でかなりネイティブに近いレベルの学生も多くいます。そしてその中にはかなり攻撃的な学生もいました(学生に対しても先生に対してもです)。またロールプレイの準備時間はもちろんなく、すべてその場で考えて会話を行います。時にシチュエーションがかなり複雑で、何を話そうかと考える前にそもそもシチュエーション自体を理解できていなかったときもあります。宿題は一番少なかったですし、授業の性質上予習ができないので、授業時間外にやることがなかったのですが、授業中は一番気を張りました。

IEIは思っていた以上に忙しかったのですが、終わってみればかなり楽しく有意義な時間を過ごせました。クラスメイトともキャンプやカヌーなどに行きましたし、頻繁に夕食や飲み会などを行いました。幸運なことに、秋学期、私のクラスメイトは約半数がIEIにステイ、約半数がイリノイ大学大学院に通っていますので(つまり全員がイリノイ大学にいる)今でもたまに集まって夕食を一緒に食べに行ったりしています。

◆ 秋学期に履修しているクラスについて

8月下旬からはイリノイ大学で授業に参加しています。当たり前ですが、IEIにいた学生は全員が留学生であるのに対し、イリノイ大学では(正確な人数は知りませんが、おおよそとして)8割近くがネイティブの学生です。さらに留学生の英語もかなりのレベルです。そのためかなり苦勞する場面があります。以下、現在私が履修しているクラスです。

• PHYS140 How Things Work

物理のクラスです。レベルは日本における高校レベルから大学初年度レベルといったところですが、毎週3時間のレクチャーとほぼ毎週1時間のディスカッションから構成されます。このクラスは、公式や数式がいっぱいでくるといったものではなく、テキストはほぼ文で構成されています。日常目にする物理現象をいかに式なしで説明するかに重点がおかれている気がします。レクチャーでは先生は前でひたすら説明するのではなく、様々なデモンストレーションを行います。かなり楽しいレクチャーです。ディスカッションでは簡単な実験を2人チームで行い、出題された問題に対して答えます(これも式で答えるのではなく文で答えます)。

• PHYS211 University Physics : Mechanics

同じく物理のクラスで、レベルは日本における高校レベルから大学初年度レベルといったところですが、こちらは大半が式で構成されます。基本的ないわゆる **Classical Mechanics** を学習します。毎週2時間のレクチャー、ほぼ毎週2時間のディスカッション、隔週2時間のラボラトリーで構成されます。レクチャーはPHYS140と同じようなシステムですが、ディスカッションとラボラトリーが異なります。ディスカッションではかなりのレベルの問題、おおよそ2時間で3-5問、をチームで相談しながら解きます(説明が難しいですが、内容のレベル自体は高くはないですが、複雑とか頭をやわらかくしないと解けないといった類の問題です)。私のチームはネイティブの学生1人とマレーシア出身の学生1人の計3人です。例えば私だけが問題を解けたとしても、口で説明するのが非常に難しいので、とにかくこれ見て、という感じでノートをそのまま見せるといった行動をとってしま

います。本当はすべて説明したいのですが、かなり歯痒い思いをしています。ラボセッションもかなり歯痒い思いをします。こちらは4人チーム(私とネイティブ2人、中国出身の学生1人)で実験を行いレポートを提出するかたちで行われるのですが、みんな早く帰りたいのか(実験が終わってレポートを提出したチームは帰れます)、凄まじいスピードで実験を行います。とくに私のラボは夜8時からというものその理由なのかは分かりませんが、ネイティブ2人が凄まじいスピードで実験をやりはじめ、私と中国出身の学生はついていくのに必死です。正直内容自体はかなり簡単なので何をやっているのかは分かるのですが、もしこれが自分にとって新しい内容のことだったらと思うとぞっとします。レポートも事前にある程度書いておかないととてもついていけるスピードではありません。またとても口を出せる雰囲気でもなく、ラボ(早いときで1時間)を通して発言回数は2-3回と行ったときもありました。レクチャーでは3回の中間試験と1回の最終試験、ディスカッションではほぼ毎週クイズ、ラボでは毎回レポート提出とかなり忙しいクラスです。

• TAM210 Intro. to Statics

静力学のクラスです。毎週3時間のレクチャーと1時間のディスカッションで構成されます。レクチャーでは先生がひたすら問題の解法やヒントを説明し、宿題もかなりの量の問題をひたすら解くタイプのもので、ディスカッションはTAが宿題に関する学生からの質問に答える形で進みます。またTAにもオフィスアワーが設けてあり、分からない問題を質問しに行けます。何度かお世話になりました。かなりお気に入りのクラスです。来学期はTAMの動力学、材料力学、流体力学を履修しようかなと考えています。あくまで現時点ですが。

• EALC250 Intro. to Japanese Culture

日本文化のクラスです。履修登録上の関係でESL115が履修できず、何かひとつ文系のクラスをとろうということと、アメリカ人の友達を作りやすいだろうといった理由で履修しました。事実何人かと親しくなれました。毎週3時間のレクチャーのみで、ディスカッションやラボもありません。ただ、かなりの忙しさです。毎週予想以上の量のテキストを読む必要があり、エッセイを始めとした筆記の宿題もかなりあります。また内容も親しみやすいかと思えば、かなり深いレベルのところまで学習するので、ときに全くわかりません。

イリノイ大学で授業を履修しはじめて約1ヶ月ですが、ようやく慣れてきたという感じですが、レクチャーももちろん先生が言ったことの100%を聞き取れるわけではありませんが、かなりリスニング力が上達したのを感じます。ただ、ネイティブの学生同士がすごいスピードで話しているのを聞いた時、ほとんど理解することができないことがあるので、PHYS211のラボではかなり集中する必要があり、終わった後はすごい疲労感が襲ってきます。

現在授業の履修以外に、いくつかのいわゆるサークル活動やそれに類するものに参加しています。また、なんとか時間を作って企業研究をはじめとした就職活動、つまり来月にせまったボストンキャリアフォーラムの準備も行なっています。これらに関しては次回の報告書で触れようと思います。

以上で報告を終わります。